

OURDENT

# 修復治療前準備のための 歯周形成外科 3回コース

KUMAMOTO

ベストセラー「新 一から学ぶ歯周外科の手技」にて提示された修復治療前準備のための歯周形成外科を実習によりマスターしていただくアドバンス6日間3回コースを企画いたしました。今までよりも一步先に進んだ治療を確実に行うための知識と技術を獲得し、日常臨床のレベルを引き上げるチャンスです。茂野啓示先生の実習コースは全国でもここ熊本だけで開催される貴重な機会もあります。

ぜひこの機会に熊本でエキサイティングな半年間を共に過ごしましょう。



## 日程

2006年5月20日(土)

7月15日(土)16日(日)17日(祝)

9月16日(土)17日(日)

土曜日は 14:00~19:00

日曜祝日は09:30~16:00

## 会場

医療法人社団平和会 添島歯科クリニック研修室  
熊本市京塚本町7-7 096-381-4118  
<http://www.soejima-dc.com>

## 定員

18名(歯科医師対象)

## 講師

茂野啓示 先生



1954年和歌山県生れ  
1981年岐阜歯科大卒業  
1988年京都府京都市にて開業

SJCD International 常任理事  
東京SJCDインストラクター  
京都大学再生医学研究所  
新潟大学歯学部非常勤講師  
朝日大学歯学部非常勤講師  
米国歯周病学会会員

北山茂野歯科医院院長  
<http://www.shigeno-d.com>  
1999年～熊本SJCD顧問

## 講師挨拶

我々が直接的に歯周疾患治療に相対するときには、咬合関係、細菌検査、ブラークスコア、プローピングチャート、動搖性検査といった多くの”資料”に基づいて、治療計画を立てていかねばならない。

歯周疾患治療において、病態を客観評価する材料については歯周病起因菌ということで細菌検査などが検査項目に加わって久しいが、しかし、検査項目事態も殆ど変化しないし、実際の治療そのものについては何も変わっていないというのが現実である。

さらにその資料に基づく実際の歯周治療に関しては、今までも、現在も、そしてこれからについても、我々のできることは、機械的に口腔内細菌叢を減少させることであり、なおかつ咬合の制御を行うことである。しかし後者については、それが歯周疾患の修飾因子として常に働いているため、必ずしも容易なことではない。

これらのこととは、この20数年間まるで変わっていないのである。

## 会費

400,000円

(消費税・昼食代込み・器材費別)

振込先：肥後銀行田中町支店(店番259)普通122568  
有限会社アワデント 代表取締役 粟津貴昭

FAXでお申込みの後、お申込金4万円を上記口座へお振込下さい  
分割支払いの場合には毎回開始までに120,000円をお振り込み下さい

## 主催

有限会社アワデント

熊本市新外4丁目6-65  
TEL 096-331-0567  
FAX 096-331-0577  
[taka@ourdent.com](mailto:taka@ourdent.com)  
<http://www.ourdent.com>

## 内容

第1回	講義	炎症の抑制と咬合の制御について
	実習	歯周形成外科の基本手技
		固定と咬合調整の実際
第2回	講義	審美修復治療のためのD.G.C.の取扱い方
	実習	歯周形成外科の実際
第3回	講義	Implant治療における歯周形成外科
	実習	Implant埋入時の軟組織の取扱い方
		2次手術時における軟組織の取扱い方

実習はすべて専用実習模型(41,000円)にて行います。

テキストとして「新 一から学ぶ歯周外科」(22,000円)を使用します

歯周外科器具に関しては推薦品を提示いたしますが、お使いのものがあればご持参下さい

以上を前提に、歯周治療について再考してみると、実は、決して画一的ではなく、術前の診査の段階から、ある程度の治療計画の指針を立てることができる。無論、その前提になるのが、あくまで機械的に歯根周囲の汚染されたものを除去するということ「廓清が主体となる」であり、外科的なアプローチを前提として処置を進めていかなければならないことが多い。

今回の3回コースでは、まず、順序立てた治療計画をスムーズに進行させるための外科的なアプローチとその手技について確実に習得していただき、次に、審美的な修復治療を行う上で必須となる、歯肉と歯槽骨の取扱い方「より難易度の高い、疾患に陥っていない歯周組織に対する外科処置をマスターするための必須条件」について、お話ししたい。そのため必要な再生医療的なテーマや実体顕微鏡下での外科処置、インプラント治療に関して必要となる知識、手技なども含めてよりアドバンスなセミナーを開催していくつもりである。

氏名	ご自宅	
勤務先	電話:e-mail	
住所 電話・FAX	紹介者 所属S.J.C.D.	